

教授

横澤 一彦

YOKOSAWA, Kazuhiko

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~yokosawa/index-j.html>

1. 略歴

- 1979年3月 東京工業大学工学部情報工学科卒
- 1981年3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子システム専攻修士課程了
- 1981年4月 日本電信電話公社(現NTT)入社
- 1986年9月～1990年2月 ATR視聴覚機構研究所(出向)
- 1990年9月 東京工業大学より工学博士号授与
- 1991年11月～1992年12月 東京大学生産技術研究所 客員助教授
- 1995年6月～1996年6月 南カリフォルニア大学 客員研究員
- 1998年10月 東京大学大学院人文社会系研究科 助教授
- 2006年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 教授
- 2009年12月～2010年3月 カリフォルニア大学パークレイ校 客員研究員

2. 主な研究活動

a 専門分野

統合的認知の心理学

b 研究課題

統合的認知について、認知心理学的研究を行っている。統合的認知とは、知覚された特徴がどのように記憶や言語や概念と関わりあって、認知に至るのかを解明しようとする広範囲の研究を指している。特に、視覚的注意やオブジェクト認知の問題を中心に研究している。さらに、感覚融合認知や共感覚に関する研究にも取り組んでおり、研究分野は視覚だけに限らず、扱っている研究課題は多岐に渡っている。

c 概要と自己評価

統合的認知に関する、多岐に渡る研究を行い、注意、オブジェクト認知、感覚融合認知の研究成果を学術論文として発表することができた。また、監修する「シリーズ統合的認知」の第1巻「注意 選択と統合」、第2巻「オブジェクト認知 統合された表象と理解」を共著で出版した。また、共感覚やラバーハンド錯覚などの最近の統合的認知研究の成果を中心に、心理学以外のバイオメカニズム学会、ヒューマンインタフェース学会、日本認知科学会などの学会誌に依頼され、概説を含めた論文を発表した。また、認知神経心理学研究会や日本心理学会公開シンポジウムで招待講演を行い、幅広い注目を集めた。

d 主要業績

(1) 著書

共著、河原純一郎、横澤一彦、『注意 選択と統合』、勁草書房、2015.11

共著、新美亮輔、上田彩子、横澤一彦、『オブジェクト認知 統合された表象と理解』、勁草書房、2016.2

(2) 論文

W. Yamashita, R. Niimi, S. Kanazawa, M. Yamaguchi K., & K. Yokosawa, 「Three-quarter view preference for three-dimensional objects in 8-month-old infants」, 『Journal of Vision』, 14(4), 5, 1-10 頁, 2014.4

K. Tamaoka, M. Asano, Y. Miyaoka, & K. Yokosawa, 「Pre- and post-head processing for single- and double-scrambled sentences of a head-final language by the eye tracking method」, 『Journal of Psycholinguistic Research』, 43, 2, 167-185 頁, 2014.4

横澤一彦, 「統合的認知」, 『認知科学』, 21, 3, 295-303 頁, 2014.9

浅野倫子, 横澤一彦, 「色字共感覚: 文字認知と色認知の隠れた結びつき」, 『ヒューマンインタフェース学会誌』, 16, 4, 265-268 頁, 2014.11

西村聡生, 横澤一彦, 「刺激反応適合性効果からみた左右と上下の空間表象」, 『心理学評論』, 57, 2, 235-257 頁, 2014.11

S. Kanaya, W. Fujisaki, S. Nishida, S. Furukawa, & K. Yokosawa, 「Effects of frequency separation and diotic/dichotic presentations on the alternation frequency limits in audition derived from a temporal phase discrimination task」, 『Perception』, 44, 2, 198-214 頁, 2015

G. Sastyin, R. Niimi, & K. Yokosawa, 「Does object view influence the scene consistency effect?」, 『Attention, Perception & Psychophysics』, 77, 3, 856-866 頁, 2015

中島亮一、横澤一彦、「画像シフトによる変化の見落としにおける持続的注意の役割」、『心理学研究』、85,6、603-608 頁、2015.2

正田真利恵、黒田直史、横澤一彦、「マジック状況における人間の顔や視線方向への偏重注視」、『認知心理学研究』、12,2、69-76 頁、2015.2

金谷翔子、横澤一彦、「手の身体所有感覚とラバーハンド錯覚」、『バイオメカニズム学会誌』、39,2、69-74 頁、2015.5

R. Nakashima, C. Watanabe, E. Maeda, T. Yoshikawa, I. Matsuda, S. Miki, & K. Yokosawa、「The effect of expert knowledge on medical search: Medical experts have specialized abilities for detecting serious lesions」、『Psychological Research』、79, 5、729-738 頁、2015.9

(3) 学会発表

国内、横澤一彦、「高次視覚と共感覚」、第18回認知神経心理学研究会、2015.8.9

国内、横澤一彦、「共同注意と美感」、日本心理学会第79回大会 公開シンポジウム、2015.9.22

(4) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、横澤一彦、研究代表者、「基盤研究（B）統合的認知としての共感覚と感覚間協応に関する認知心理学的研究」、2014～

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日本認知科学会、常任運営委員、2013.1～

国内、日本心理学会、優秀論文賞選考委員会委員長、2015.4～2016.3

(2) 行政

日本学術振興会学術システム研究センター、専門研究員、2013.4～